「集成材等建築物構造設計マニュアル」

正誤表（1 版 1 刷）

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正しお詫び申し上げます。

最新の正誤表については、（一財）日本建築センターホームページ（http://www.bcj.or.jp/）からご確認ください。

R7/9/29

該当箇所		誤	正
頁	行		
103	5 行目	回転剛性を式(3.4-11)に用いて算出し、	回転剛性を「3.4.2 (5) 許容曲げモーメント」式(3.4-14)を用いて算出し、
124	9 行目 式(3.5-67)	$\frac{M}{M_a}+\frac{N}{(N_a/2)}\leqq 1.0$	※左辺第 2 項分母を修正 $\frac{M}{M_a}+\frac{N}{N_a}\leqq 1.0$
134	下から 3 行目 式(3.6-18)	$C_m=\min\left\{1,\sqrt{2+\frac{3}{8}\gamma_m(d/l_e)^2}-1,(d/l_e)\cdot\sqrt{\frac{3}{8}\gamma_m}\right\}$	※式中 3/8 を 8/3 に修正 $C_m=\min\left\{1,\sqrt{2+\frac{8}{3}\gamma_m(d/l_e)^2}-1,(d/l_e)\cdot\sqrt{\frac{8}{3}\gamma_m}\right\}$
147	下から 9 行目 式(3.6-59)	$x_n=-\frac{1}{e_Q}\cdot\frac{{}_{DP}K_\theta'}{nC_jk_0}$	※右辺 2 つ目の分母を k_{90} に修正 $x_n=-\frac{1}{e_Q}\cdot\frac{{}_{DP}K_\theta'}{nC_jk_{90}}$ k_{90} ：i 番単位接合部のせん断剛性（繊維直角方向、式(3.6-4)）
195	2 行目 式(4.1-61)	$EA_{等}=\frac{E\cdot K(L^2+H^2)^{\frac{3}{2}}}{2\cdot L^2\cdot H}$	※右辺分子の「$E\cdot$」を削除 $EA_{等}=\frac{K(L^2+H^2)^{\frac{3}{2}}}{2\cdot L^2\cdot H}$
216	11 行目	④ブレース構造は	④方づえ構造は